

《ディスプレイブレーキ液量の点検》

- メインスタンドを立て、ハンドルをまっすぐにしてブレーキ液面がレベルラインに平行な状態で点検します。
- 液面がUPPER(上限)とLOWER(下限)の間にあるのが正規です。
- 液面が下限のレベルライン以下にあるときは、上限のレベルラインまで指定のブレーキ液を補充してください。
- 補充はビス4本を外し、キャップを外して行ないます。

指定液は、**ホンダブレーキフルードDOT-3**です。

注意

- 液が急に不足しはじめたら、販売店またはホンダS Fで点検整備を受けてください。
- 指定ブレーキ液以外は使用しないでください。指定以外のものとの混合は、化学変化を起こし、故障の原因になることがあります。
- ブレーキ液を塗装面、プラスチック、ゴム類に付着させると部品がいたみます。

